

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【公開番号】特開2018-190722(P2018-190722A)

【公開日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-046

【出願番号】特願2018-87604(P2018-87604)

【国際特許分類】

H 01 M 2/16 (2006.01)

H 01 M 10/0566 (2010.01)

【F I】

H 01 M 2/16 L

H 01 M 2/16 M

H 01 M 2/16 P

H 01 M 10/0566

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月14日(2018.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無機フィラーと、樹脂とを含む非水電解液二次電池用絶縁性多孔質層であって、前記非水電解液二次電池用絶縁性多孔質層の表面の、無機フィラーの投影像のアスペクト比が、1.4～4.0の範囲であり、

前記非水電解液二次電池用絶縁性多孔質層の、広角X線回折法により測定した、互いに直交する任意の回折面(hkl)、(abc)のピーク強度： $I_{(hkl)}$ および $I_{(abc)}$ が下式(1)を満たし、

下式(2)で算出されるピーク強度比の最大値の範囲が、1.5～300の範囲であることを特徴とする、非水電解液二次電池用絶縁性多孔質層。

$I_{(hkl)} > I_{(abc)} \dots (1)$ 、

$I_{(hkl)} / I_{(abc)} \dots (2)$

【請求項2】

前記樹脂が、芳香族ポリアミドおよび全芳香族ポリアミドからなる群から少なくとも1種選択される樹脂である、請求項1に記載の非水電解液二次電池用絶縁性多孔質層。

【請求項3】

ポリオレフィンを主成分とする多孔質基材の片面または両面に、請求項1または2に記載の非水電解液二次電池用絶縁性多孔質層が積層していることを特徴とする、非水電解液二次電池用積層セパレータ。

【請求項4】

正極、請求項1若しくは2に記載の非水電解液二次電池用絶縁性多孔質層、または、請求項3に記載の非水電解液二次電池用積層セパレータ、および負極がこの順で配置されていることを特徴とする、非水電解液二次電池用部材。

【請求項5】

請求項1若しくは2に記載の非水電解液二次電池用絶縁性多孔質層、または、請求項3に記載の非水電解液二次電池用積層セパレータを含むことを特徴とする、非水電解液二次

電池。